



長崎

ポートガイド

Nagasaki Port Guide



観光情報は、こちら!

ながさき旅ネット
<http://www.nagasaki-tabinet.com/>

船舶代理店

長崎倉庫
船舶代理店課
電話095-824-1265



長崎港に停泊するダイヤモンド・プリンセス

1571年の開港以来、西洋との唯一の窓口として、日本の近代化に重要な役割を果たしてきた長崎港は、今もなお、街の至る所に中国や西洋からの文化を垣間見ることができる、異国情緒あふれる港です。

長崎港を訪れるクルーズ客船は、街の中心部に接岸することができるため、アクセスが大変良いのが自慢です。港から繁華街へは徒歩で、市内主要観光地へは路面電車で行くことができます。

長崎の有名な観光地ですが、港からほど近いところでは、観光名所「グラバー園」や国宝にも指定されている日本最古のゴシック様式の教会「大浦天主堂」があります。そして、港からおよそ5km北には、平和公園、長崎原爆資料館が位置し、国内外を問わず、多くの観光客の方々が訪れています。

それ以外にも、世界新三大夜景に認定された夜景を楽しむことができる「稲佐山展望台」や、2015年世界遺産に登録された「明治日本

の産業革命遺産」の構成資産の一つ、「軍艦島」があります。軍艦島は、映画「007 スカイフォール」に登場するマカオの沖合に浮かぶ廃墟の島デッド・シティのモデルにもなりました。この島への上陸ツアーが人気を呼んでおり、年間15万人以上の方が訪れ、クルーズ客船の乗客の方々も多数上陸されています。今、世界的に注目されている観光スポットです。

また郊外には、島原、雲仙、佐世保・ハウステンボスなどもあり、長崎市内とはまた違った雰囲気を楽しむことができます。

そして、忘れてはいけないのがグルメです。長崎の名物といえば、何といっても「ちゃんぽん」と「皿うどん」。地元の人からも変わらず愛され続けている長崎の味は、長崎港からほど近い「長崎新地中華街」など市内のさまざまな食事処で楽しむことができます。

観光、そしてグルメなど、ぜひ長崎での多彩な時間をお楽しみください。



① グラバー園

世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つに指定されています。日本の近代化に貢献したトーマス・ブレイク・グラバー氏の旧グラバー住宅をはじめ、緑や花に囲まれた園内に点在する9棟の歴史的な洋館や、小高い丘から見下ろす長崎港の素晴らしい景観など、見どころいっぱいです。

② 平和公園・長崎原爆資料館

平和祈念像は、長崎県出身の北村西望作。天を指す右手は原爆の脅威を、水平に伸ばした左手は恒久平和を、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈る心を表しています。

③ 稲佐山展望台

標高333mの展望台の眼下に広がる大パノラマ。晴れた日には、五島列島、雲仙、天草まで見渡せ、夜は2012年に香港、モナコと並び認定を受けた「世界新三大夜景」を存分に楽しむことができます。

長崎のすり鉢状の地形が生み出す立体的な夜景の美しさが、世界的に高い評価を受けており、長崎を代表する人気の観光スポットとなっています。

④ 長崎市亀山社中記念館

建物内には、幕末期の長崎の様子や亀山社中と関わりが深い人物に関する資料が展示され、この地が日本の近代化に果たした役割を紹介しています。

⑤ 軍艦島(端島)

日本の近代化を支えてきた海底炭鉱の島。狭い島に高層アパートが林立する姿は、世界的にも珍しく、海の要塞とも思わせる外観は、軍艦の「土佐」に似ていることから、「軍艦島」と呼ばれています。また、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つに指定されており、2015年、世界遺産に登録されました。軍艦島には年間15万人以上の人々が訪れ、クルーズの乗客の皆様も多数上陸しています。

* * *

足を延ばして.....



⑥ 佐世保・ハウステンボス

長崎県北西部一帯の海上に浮かぶ「九十九島」。島の数は208で島の密度は日本一といわれ、一年を通して、島の緑が澄んだ青い海に映える風景を楽しむことができます。また、中世ヨーロッパの街並みを再現した「ハウステンボス」には四季折々の花が咲きそろう、街には運河が流れ、ヨーロッパを旅したような気分が味わえます。



⑦ 雲仙・島原

周囲をぐるりと海に囲まれた島原半島には、日本最初の国立公園に指定された雲仙温泉をはじめ、橘湾に沈む夕日が名物の小浜温泉、さらに有明海を望む島原温泉があり、人気を呼んでいます。

港までの所要時間

路面電車電停「大浦海岸通り」より	■ 徒歩約5分
JR「長崎駅」より	■ 車で約10分
長崎空港より	■ 空港リムジンバスで約35分+バス停「長崎新地ターミナル」から徒歩約10分

〒850-0921 長崎市松が枝町7-16
電話095-895-9512

長崎

おすすめグルメガイド

豊かな自然からもたらされる豊富な食材と、中国・オランダ・ポルトガルなどから伝えられた食文化が融合され、独自に進化してきた長崎の味。海外からの文化が溶け込んだバラエティーに豊かな料理やお菓子などを、思う存分にお楽しみください。



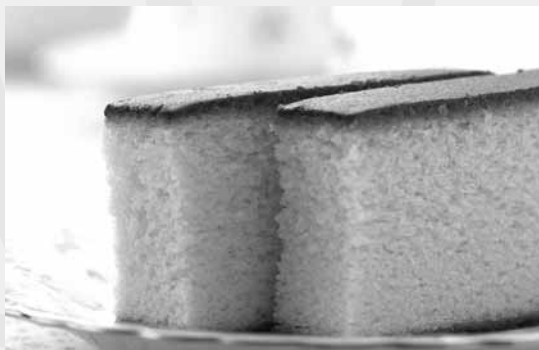
長崎卓袱（ながさきしっぽく）

卓は「食卓」、袱は「テーブルかけ」という意味で、朱塗りの円卓を数人で囲み、一つの皿に盛られた料理を直箸で取り分けて食べる長崎らしい究極の郷土料理です。お手軽なミニ卓袱も。



トルコライス

トンカツ、ピラス、スパゲティ。人気の洋食メニューを一つのお皿に盛り付けた料理、それがトルコライスです。このユニークなワンプレート料理は長崎のレストランや食堂など、ほとんどのお店で食べることができ、長崎庶民の味として親しまれています。



カステラ

長崎を代表する日本全国でもおなじみのカステラは、16世紀中期にポルトガル人によって日本にもたらされました。伝来当初は、卵、砂糖、小麦粉で作られていましたが、材料に水飴を加えるなど製法や配合に改良を加え、長崎独自のカステラとなりました。